



くすのき

2022.2
第81号

題字 森下啓明
愛知県立成章高等学校PTA発行

目次

- つながりを大切に……………1
- 幸せになるために……………1
- 親の気持ち……………2
- 部活動報告……………2

- 学年主任の言葉……………2
- 3年生担任の先生方から卒業生に贈る言葉……………3
- 令和2年度3学期部活動結果報告……………4
- 成章〇〇コラム……………4

つながりを大切に

PTA副会長 横田 淳 宗



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの高校生活の3分の2は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された生活となりました。休校、学校行事の中止、縮小、一番の思い出の一つとなるはずであった修学旅行も3度計画されましたが、実施できませんでした。しかし、そのような中で先生方と共に、知恵を絞り可能性を模索し、実現していく挑戦を経験しました。必ず新型コロナウイルス感染症も過去の事になる日が来ます。いつか、この時代を振り返る時、この時代に高校生活を過ごした皆さんは、逆境に負けないうまくましい世代だといわれるようになるでしょう。

卒業は「別れ」であると同時に「新しい出会い」への出発でもあります。これからの人生で、多くの出会いがあることでしょう。出会うという事は、出会った人のことを知る機会になります。「われ以外みなわが師」という作家の吉川英治さんの言葉があります。自分以外のものはすべて私の先生であり、自分以外の人でも物でも皆、自分に何かを教えてくれるという意味です。新しい出会いは、色々な事を知る、自分を顧みる機会になり、自身を成長させてくれます。皆さんには、新しい出会いを楽しんでいただきたいと思います。

そして、「出会い」は「つながり」の始まりでもあります。生活をしていくその時々で、つながりの強さは違ってきます。すべてのつながりを保ち続けるのは困難ですが、長い人生の中で、そのつながりが自分を助けてくれるはずです。創立120周年の時に一緒に成章高校に通った「つながり」は特に大きな財産になるはずです。今までの、そしてこれからの出会いとつながりを大切にしたいと思います。

幸せになるために

校長 青山 昌 俊



成章高校第74回生の皆さん、御卒業おめでとうございます。3年間の高校生活はどのようなものでしたか。コロナ禍での生活となり、苦しいこともたくさんあったでしょう。それらを乗り越えて卒業を迎えた皆さんに幸せになってほしいと思いま

す。慶應義塾大学大学院の前野隆司教授は、幸せ研究を体系化しようと因子分析という手法を用い、幸せになれる四つの因子を得たそうです。

- 第一因子「やってみよう！」因子
- 第二因子「ありがとう！」因子
- 第三因子「なんとかなる！」因子
- 第四因子「ありのままに！」因子

第一因子は自己実現や成長といった自分に向かう幸せなのに対して、第二因子は感謝と利他、他人に向かう幸せであり、第三因子は幸せは前向きさと楽観性が必要だと示します。第四因子は周りの目を気にせず、自分らしく生きることが幸せにつながることを示しています。周囲の人と仲良くすることは良いのですが、それが人のペースに合わせてばかりになっては幸せになれないでしょう。人と仲良くしつつも、同時に自分らしさを持つことで、幸せになれるのです。卒業後、皆さんは新たな人間関係をつくっていくことになります。やってみよう！と挑戦し、ありがとう！と感謝し、なんとかなる！と前向きになり、ありのままに！と自分らしく生きて幸せになってください。

保護者の皆様、お子様の御卒業を心からお祝い申し上げます。これまで、本校の教育活動に御理解御協力いただき誠にありがとうございました。

親の気持ち

2年の任期を終えて

PTA副会長 柳川由美

PTAの役員になって2年。新型コロナウイルス感染症の混乱とともに始まった任期は、何の仕事もできず、思い出も残さないまま終わろうとしている。もう2年経ったのかと、時間の過ぎる早さにただ驚き戸惑うばかりだ。

この混乱が始まって、私は個人的にリモートワークという働き方に衝撃を受けた。会社に行かなくても仕事が成立するという事がすぐに理解できなかった。一方で、リモート会議やオンラインコンサートなど、なぜもっと早く取り入れてくれなかったのかと残念にも思った。

当たり前の日常が無理矢理ひっくり返されてしまった今、私達親世代は子供たちに対して、ただ経験から物を言うことができなくなってしまった。過去の教訓が当てはまらない事が多い。これから社会に出ていく卒業生たちも私達世代も、同じスタートラインに立たされているように感じる。

さまざまな既成概念のカベが壊れつつあり、人と人との繋がりも希薄になりがちな今だからこそ、世代を超えて、同じ時間を生きていきたいと思うのは私だけだろうか。この2年間から何かを得て、次の思い出作りに活かせないだろうか。この2年を終えた今、そんなふうに思う。

コロナ禍の2年間

PTA副会長 斎藤律子

令和2年度より2年間、役員を務めさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、未だ収束することも無く、子どもたちは戸惑い、保護者の皆様も困惑されていることと思われます。また、学校関係者のご心労もお察し致します。

令和3年度になり、年末には収束の兆しが見えたように思われましたが、年が明け、現在に至っては残念ながら、毎日のように過去最多という言葉を目にするようになりました。

PTA活動につきましても、思うように行事を進めることが出来ず、会長をはじめ役員・委員の方々にご迷惑をおかけしたかと思われます。

子どもたちは楽しみにしていた修学旅行も中止になり、部活動の大会なども、多くの規制のかかる中思い通りの結果が十分に発揮できたかどうか気が咎められます。とくに卒業生にとっては、そんな中でも就職活動、進学に向けての勉強と新型コロナウイルス感染症の蔓延以前と変わらぬ、それぞれのやるべき事をこの状況下の中努めてきました。今後は、その苦しかった、悔しかった思いをバネに、また多くの想像もつかないような事件が多発する中、「生きる力」を身につけて欲しいと思います。

一日も早く、新型コロナウイルス感染症の収束を願います。

部活動報告

学年主任の言葉

第40回記念

令和3年度全国高等学校

弓道選抜大会

弓道部顧問 齋藤洋志

弓道部の根本華澄さんは、11月の県選抜大会の女子個人の部で優勝し、12月23日(木)に茨城県水戸市のアダストリアみとアリーナ特設弓道場で行われた「第40回記念 令和3年度全国高等学校弓道選抜大会」に出場しました。女子個人の部では、予選で4射3中以上で準決勝に進むことができましたが、根本さんは残念ながら4射1中の成績で、予選敗退という結果になりました。しかし、全国大会に出場した経験は、根本さん自身だけでなく、弓道部全体にとっても非常にプラスになりました。同じ部員に全国選手がいるということは、身近な目標にもなります。次の全国大会のチャンスは夏のインターハイです。悔いのない結果を残せるように、今後も努力を続けますので、応援のほど、よろしくをお願いします。

なお、全国大会の詳細な結果および動画配信アーカイブについては、全国高等学校体育連盟弓道専門部のホームページからご覧になれます。



『これからも挑戦を!』

第3学年主任 岡田展知

挑戦という言葉が好きです。メジャーリーガーの大谷翔平選手が多くの国民を惹きつけるのは結果だけではなく、誰も成し遂げることがないことに挑戦している姿を見て、自分も頑張ろうという気持ちになれるからだと思います。高校生活3年間のうちの約2年をコロナ禍の中で過ごしてきました。満足な高校生活を送ることができない中でも、制限のある中で行った学校行事や部活動、就職試験、進学試験に向けて真剣に取り組み、挑戦する姿を見て、私たち学年団も頑張ろうという気持ちになりました。これから先、今までよりも困難なことがあるかもしれませんが、その中でも新たに目標を定め挑戦を続けていってください。私たちもずっと応援しています。卒業おめでとう!



3年生担任の先生方から卒業生に贈る言葉

何をやっても中途半端

1組担任 深谷 勇之介

私は小さい頃から様々なことをしてきました。例えば、これまでにやってきた習い事を挙げると、算盤、スイミング、少年野球、学習塾などがあります。その他にもやりたいことをたくさんやってきましたが、ふと振り返ってみると自分には何も残っていないと置いていた時期がありました。継続できていることがなく、中途半端な自分が心の底から嫌でした。

それでも日々を過ごしていく中で、自分のアイデンティティを作り上げていく過程にいたんだと捉えるようになりました。色んなことに挑戦してみたり、回り道をしてみたりすることで、苦しさも何かを得る喜びも知ることができます。経験してきたことは中途半端でも決して無駄ではありません。人生の過程を大切にしてほしいと思います。

最後になりましたが、ご卒業おめでとうございます。これからの人生を今までよりもっと彩り豊かにしていってください。

「社会に貢献できる人に」

2組担任 谷中 美奈子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度初めて担当した学年、学級で新鮮さがありましたが、3年生の担任として早急に一人ひとりの顔と名前、性格、希望する進路を覚え、理解し、常にどうしたらよいか考えて過ごす毎日でした。無事皆さんの卒業を迎えた今、3年間を1年に圧縮したような充実した1年であったと感じています。

これからIoT、AI等を活用した社会のデジタル化がさらに推進されます。生活の質や効率性、利便性などがさらに向上することが期待されますが、その一方で、人と人の結びつきが希薄になっていくことも考えられます。しかし、どのような社会であっても、人だからこそ私たち一人ひとりができる社会的役割があります。自分の役割をしっかり理解し、責任を持って果たすことがさらに必要になると考えます。人として大事なことを忘れることなく、ぜひ社会に貢献してくれることを願っています。ご多幸をお祈りします。

「初心忘るべからず」

3組担任 早川 奎一郎

先日、元プロ野球選手の方と話をする機会があった。落合監督時代の中日ドラゴンズでピッチャーをしていた方である。その方は現在は別の仕事をされていて、少し前に仕事がうまくいっていないときに久しぶりに落合監督に再会したという。悩みを打ち明けると、落合監督にこんなことを言われたそうだ。「何でおまえは1年目にやっていたことを2年目、3年目も続けないんだ。ちょっと結果が出たら満足して。野球と一緒にねえか。」その方は現在7年目。毎日忙しく必死に仕事をされている。人は慣れてくると自分に対する甘えが出てくる。このくらいでいいのかなと妥協してしまうのだ。それでいいのかと自問自答してほしい。ときには成程で頑張った自分を思い出しながら、いつまでも初めの気持ち、志を忘れずに。毎日必死になってがむしゃらに努力するんだぞ。卒業おめでとう。

『おとなになるってどんなこと?』

4組担任 伊藤 瑠里

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。貴方たちと一緒に成章高校へ赴任して、早三年。今は、嬉しさと寂しさで胸がいっぱいです。

2022年4月1日から改正民法が施行され、貴方たちは4月1日付で成人となります。つまり、法律上は「大人」になるということです。

『キッチン』の著者として有名な「吉本ばなな」さんは、『おとなになるってどんなこと?』という新書の中で、こう述べています。「大人になるということは、つまりは、子どもの自分をちゃんと抱えながら、大人を生きるということです。」大人になったからといって、辛いとか苦しいなどの感情をないことにする必要はないのです。大切なことは、繊細な感情を認め、うまく付き合っていくことです。心の叫びに、正しい行動で対処する。それが大人になるということだだと思います。

貴方たち一人ひとりの人生に幸多からんことを祈っています。

思い出を手し、前へ

5組担任 岡村 真紀

高校生だった頃、養護教諭に「高校時代の友は一生の友だよ!」と声をかけていただきました。卒業してすぐにはあまり意味がわかりませんでした。今になるとこの言葉が響きます。みなさんも、高校生活の中で本音でぶつかり合い、本気で接する仲間に出会えたのではないかと思います。実際、私は遠方へ嫁いだ友が帰省するのに合わせ、今でも高校時代の友2人と年に1回会って話をしています。お互い学生時代、子育てに夢中だった頃はあまり顔を合わせませんでした。生活が落ち着いてきて定期的に会うようになりました。本当に一生の友になりました。みなさんも、ぜひ友だちとの連絡を絶やさないでください。忙しかったらあまり会えないかもしれませんが、でもいつかまたゆっくり会って話ができる時が来るはず。その時まで、細い糸を繋げておいてください。

みなさんそれぞれの道で活躍されることを願っています。卒業おめでとうございます。

「ハチドリのように」

6組担任 荻野 堅資

卒業おめでとうございます。南米のアンデス地方に伝わる話を紹介します。「森が燃えていました。森の生きものたちはわれ先にと逃げていきました。でもクリキンディという名のハチドリだけは行ったり来たり口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落とすしていきます。動物たちがそれを見て『そんなことをしていったい何になるんだ』といって笑います。クリキンディはこう言いました。『私は、私にできることをしているだけ』(辻信一訳「ハチドリの一としずく」より)

うまくいかないことについて、他人のせいや環境のせいにしても何も好転しません。自分の身を置いたところで、自分にできることを、ていねいに一所懸命やってみてください。自分一人の力は小さくても、その頑張る姿を見て、周りも同じように動き出せば、大きな力になり得ます。相手の喜びを自分の喜びと思えるように、世のため人のため、ハチドリのように、自分の力を役立ててほしいと思います。

令和3年度3学期部活動結果報告

令和3年2月現在（太字は県大会以上）

バスケットボール

- 第15回 商業科大会 バスケットボール競技 男子

12月18日（土）	碧南高等学校	33 - 56	成章高等学校
	東海商業高等学校	63 - 60	成章高等学校
12月19日（日）	岩倉総合高等学校	78 - 68	成章高等学校
	知立高等学校	87 - 63	成章高等学校
- 令和3年度 愛知県高等学校新人体育大会
バスケットボール競技 東三河予選会

1月8日（土）	新城有教館高等学校	58 - 81	成章高等学校
	桜丘高等学校	157 - 27	成章高等学校

第8位

バレーボール男子

- 令和3年度東三河高等学校バレーボール選手権大会
12月11日
予選リーグ

成章	25 - 9	25 - 20		小坂井
成章	25 - 18	23 - 25	15 - 6	豊橋南
- 12月12日
準々決勝

成章	25 - 20	15 - 25	15 - 13	豊橋工科
----	---------	---------	---------	------
- 準決勝

成章	15 - 25	16 - 25		豊橋中央
----	---------	---------	--	------
- 東三河3位
- 令和3年度愛知県高等学校新人体育大会
バレーボール競技東三河地区予選会
1月15日（土）

1回戦	成章	30 - 32	25 - 18	15 - 4	豊橋東
2回戦	成章	23 - 25	25 - 18	16 - 14	豊橋南
準決勝	成章	15 - 25	13 - 25		豊橋中央
3位決定戦	成章	19 - 25	25 - 22	15 - 12	豊橋工科
- 東三河3位【県大会出場】

バレーボール女子

- 令和3年度東三河高等学校バレーボール選手権大会
12月11日（土）
予選リーグ

成章	28 - 26	25 - 19		時習館
成章	8 - 25	12 - 25		豊橋中央
- 令和3年度愛知県高等学校新人体育大会
バレーボール競技東三河支部予選会
1月16日（土）

1回戦	成章	28 - 30	25 - 21	15 - 6	新城有教館
2回戦	成章	22 - 25	12 - 25		豊橋商業

弓道

- 第40回記念 令和3年度全国高等学校弓道選抜大会
12月23日 茨城県 アダストリアみとアリーナ 特設弓道場
女子個人 根本 出場（4射1中）

剣道

- 田原市スポーツフェスティバル2021剣道大会
12月19日（日） 田原市総合体育館
男子 河邊駿 初戦敗退
女子 河合菜々美 優勝
濱口百々那 初戦敗退

卓球

- 田原市スポーツフェスティバル2021
〈女子〉 12月19日（日）一般の部
鈴木ひとみ 第3位
- 令和3年度全国高等学校選抜卓球大会愛知県予選会
〈男子〉 1月10日（月）シングルス
小久保駿介 ベスト32
〈女子〉 1月10日（月）シングルス
鈴木ひとみ ベスト32

写真

- 令和3年度愛知県高等学校文化連盟写真専門部
東三河支部「第34回高校生の写真展」
令和3年12月10日（金）～12日（日）
奨励賞 「ぶっちぎり」 2年 今川 望
「希望の景色」 2年 大高 静香
- 「高校生×土木」フォトコン2021
令和3年12月27日（月）
優秀賞 「独り立ち」 2年 鈴木 恵理
- 東三河の高校生発地元愛
フォトコンテスト「ラプロコ」
令和4年1月11日（火）
風景部門 金賞 1年 河合 理沙

吹奏楽

- 12月26日（日）
愛知県アンサンブルコンテスト東三河地区大会
（豊川市文化会館）
クラリネット四重奏 銀賞
サクソフォン四重奏 金賞
フルート三重奏 金賞
- 1月29日（土）
愛知県アンサンブルコンテスト県大会
（豊川市文化会館）
サクソフォン四重奏 銀賞

【県大会出場】

美術

- 第36回高文連美術・工芸専門部
『東三河』支部展出品（1月12日～1月16日）

成章〇〇
コラム

藩校成章館跡

この碑にはご覧のとおり「藩校成章館跡」と刻まれています。建つ場所は、田原中部小学校の正門横、かつての城下町のメインストリート「大手筋（通り）」に面した、市街地の一等地です。碑の裏面には「昭和四十八年十一月吉日建之 昭和十一年三月卒業 田原中部小学校尋常科有志一同 担任 小澤耕一謹書」とあります。

藩校は1810（文化7）年9月に現在の田原中部小学校敷地の東側部分に創建され、翌1811年に「成章館」と名付けられました。藩校成章館は1871（明治4）年7月に廃藩置県によって廃校となりますが、1901年4月に「田原尋常高等小学校付設成章館」として再興しました。この年を起源としてカウントすると今年度が創立120周年ということなのです。

その後、1913（大正2）年4月に校舎を現在の池ノ原1番地に移すことに決定し、6月には新校舎へ移転、7月に落成式が行われ、ここは文字通り「藩校成章館跡」となりました。この年の9月に発行された『明治四十四年愛知縣渥美郡統計書』（愛知縣渥美郡役所）の「各種學校」の項目には「田原町立成章館」があり、「修身、國語、数学、理科、体操、英語」を教科として学び、「修業年限二年」「學級數二」「生徒男九三」「一ヶ年經費總額一、二九四円」がその他のスペックとして掲出されています。

この写真は昨年の7月15日に田原の城下町の巡検中に撮影しました。サクラの葉の緑がたいへんきれいな日でした。

